

安部邦昭 プロフィール

分野	景観生態学、市民参加、まちづくり
現職名	NPO 法人都市づくり NPO さいたま 理事 一般社団法人埼玉を食べる 代表理事 NPO 法人生態工房 理事 エバーグリーン・プランニング 代表 さいたま百景選定市民委員会 事務局長 一般財団法人都市農地活用支援センター 主任研究員
アドバイス できる分野	地域の中での生物多様性の現状の評価と計画づくり、市民参加による生きもの 調査、里山や農村環境の評価、街中での生きものの生息環境づくり、市民参加 のまちづくりワークショップ、ドローンや GIS(地理情報システム)を用いた地 形・景観の評価・解析など
経歴等	1996 年 日本大学農獣医学部林学科 卒業 1998~2006 年 株式会社 生態計画研究所 研究員 2002 年~ NPO 法人都市づくり NPO さいたま 理事 2002 年~ NPO 法人生態工房 理事長(~2021 年)、理事(2021 年~) 2002~2005 年、2015 年~2017 年 さいたま市環境審議会 委員 2005 年~ さいたま市環境会議 副会長 2007 年~ さいたま百景選定市民委員会 事務局長 2007 年~2016 年 さいたま市市民活動サポートセンター スタッフ 2010 年 さいたま市生物多様性地域戦略検討専門委員会 委員 2011 年~ さいたま子どもエコ検定委員会 委員 2012 年~ 大宮経済新聞・浦和経済新聞 デスク 2016 年~ 一般社団法人埼玉を食べる 代表理事 2022 年~ 塚本郷~Re 農 vation プロジェクト・代表
活動実績	国土交通省(旧建設省)の研究所とともに、生態ネットワーク計画立案のための 評価手法及び計画立案手法の開発に携わりました。同時に、地域の生物多様性 を保全するために欠かせない市民参加を深化させる、市民参加型生きもの調査 手法の開発にも携わりました。 その結果を基に、さいたま市で 2008 年にさいたまカエル大調査を実施、その 実績なども踏まえてさいたま市生物多様性地域戦略検討委員会の委員などを 務めました。 また、市民の自由な視点からさいたま市らしい風景を選定するさいたま百景選 定市民委員会の事務局長を務め、さいたま百景の選定~出版を行いました。現 在は、百景の巡回ツアーや新しい景観資源の発掘などを行っています。 埼玉県景観行政連絡会議と埼玉県が設置していた「埼玉県景観資源データベ ース」の立ち上げから管理までを担当しました。 2013 年からは、埼玉県景観行政連絡会の研究会にて、景観づくりワークショ

	<p>ップ研修の企画・運営を担当しています。</p> <p>2022年からは、さいたま市桜区の荒川堤外地に広がる里山景観を未来に繋ぐためのプロジェクト「塚本郷～Re農vationプロジェクト」を進めています。</p>
ホームページ	<p><a href="https://www.tsukutama.info">https://www.tsukutama.info</a></p>
先生から一言	<p>景観というと、見た目の風景として捉えられがちです。そこで、生きものの目から景観を評価することで、その土地の地勢、風土、気象、歴史など、その景観が成立している背景情報を読み取ることができます。</p> <p>歴史、文化、市民活動など、形として目に見えにくいものを「見える化」することで、景観のもつ意味合いは大きく変わってくると思います。そんなお手伝いのできればと思っています。</p>